



「都井岬観光交流館 PAKALAPAKA (パカラパカ)」の楽しみ方

今年4月に都井岬にオープンした「都井岬観光交流館 PAKALAPAKA (パカラパカ)」。皆さん、もう足をお運びいただけただでしょうか? トイレ休憩や食事、お土産の購入はもちろん、串間の情報が詰まったデジタルサイネージ(電子看板)や、貴重な野生馬の出産シーンが入った映像などを楽しむことができます。まだ訪れたことがない方は必見、今回はパカラパカの楽しみ方をご紹介します。

まずは、パカラパカに来たら試してほしい「VR」。VRとは、バーチャルリアリティ(仮想現実)のこと。VRゴーグルを装着すると、目の前に360度の映像が広がり、実際にその場にいるかのような体験ができます。また、VRゴーグルで見ている映像がモニターに表示されるので、周囲にいる人も一緒に楽し

むことができます。現在ご覧いただける動画は、9種類。人気のエコツアーズム体験、イルカランドのかわいい動物たち、幸島の野生猿、なかなか近くでは見ることのできない風力発電など、子どもから大人まで楽しめること間違いなしのVRを、無料で体験いただけます。

そして、都井岬で絶対に体験してほしいのが「野生馬ガイド」。専門ガイドが、都井岬の野生馬や植物の魅力をご案内。まず、馬を観察する上での注意事項などを聞いて、体験スタート。小松ヶ丘を登って、馬を探します。ガイドは、馬のいるスポットを把握しているので、観察も効率的です。馬の家族構成や、日常の過ごし方、行動についても

行動があれば、ぜひ質問してみましよう。都井岬の絶景を楽しみながら、野生馬たちの意外な一面や、誰かに教えたくない小ネタが詰まった充実の1時間。最後には、都井岬ならではのお土産がもらえます。野生馬ガイドの大隈さんは、「新型コロナウイルスの影響で、旅行や遠出も厳しい状況が続いていますが、こんな時だからこそ都井岬の魅力を再発見してほしいです」と話していました。今後は、ウオーキングイベントなどの開催も予定しているそうです。

新たな観光スポットが加わり、にぎわいを見せる都井岬で、串間の魅力を再発見してみてください。
●問い合わせ先
都井岬観光交流館
PAKALAPAKA(パカラパカ)
☎27-3477

串間市観光物産協会 自主事業

野生馬ガイド体験予約受付中

所要時間(約60分)
9:30~ 11:00~ 13:00~ 15:30~

料金
大人 1,500円 小中学生 1,000円
(※10名様以上の団体のお客様は要相談。)

最少人数:2名~ 予約制

ご興味をお持ちのお客様は
お気軽にお問い合わせください。

お問合せ先
都井岬野生馬ガイド直通電話
担当:大隈 伊良田 090-4588-1133
都井岬観光交流館 PAKALAPAKA(火曜休館日) 250957-27-3477
串間市観光物産協会事務局 250957-72-0479



市長コラム 「燃え尽きた夏、燃え残った夏」



福島高校野球部の皆さんとの記念撮影

新型コロナウイルス感染症が日本で発生してから約7カ月が過ぎましたが、いまだに猛威を振るっています。宮崎県内においても7月に入ってから感染症が拡大し続けており、引き続き緊張感を持って感染予防対策をしていかなければならない状況となっています。

先日、8月15日の終戦の日で日本は戦後75年を迎えました。戦後復興を果たし、今日では世界に誇る経済大国となりましたが、同感染症の影響で国内の経済が大きく冷え込んでいます。迅速な経済対策が求められますが、本市においても感染予防対策と併せて関係機関と協力して取り組んでまいります。

とりわけ今年の夏は、全国高校総体「インターハイ」や夏の全国高校野球大会など学生総仕上げの大会が中止になっており、将来を担う子どもたちの夢がはかなく消えてしまったことが残念でなりません。ですが、少しでも活

躍できる場を提供したいという思いから全国各地で代替大会が開催されており、出場した選手たちは大きな励みとなり元気にこの夏を燃え尽きたと思います。県内においても同野球大会の宮崎県予選に代わる「県高校野球大会2020」が行われ、福島高校野球部が39年ぶりにベスト8の成績を収めました。なんと部員全員が市内出身者であり、仲間パワーで元氣と夢を与えてくれました。大会後には結果報告にも来ていただき、直接大会を通しての感想をお聞きすることができました。

残念ながら競技によつては、大会に出場できなかった選手もいらっしゃると思いますが、この夏の思い出は全ての選手のこれからの新たな長い人生の大きな糧となっていくことと思います。今後もし引き続き、市民一丸となって同感染症対策を行っていきこの事態を乗り越えていきましよう。

地域おこし協力隊 活動日記



No.41 ギネス 世界記録



ずと思い、この結果について考えてみました。

串間での農業研修に精を出して半年が過ぎ、将来的に栽培する品目をキュウリに決めることができました。そんな中、とある方から、「やるからには世界のトップを知った方がいいよね」というお言葉をいただくと同時に、キュウリに関するギネス世界記録を教えてくださいました。最も長いキュウリは107cm、最も重いキュウリは12.9kgといった記録が存在しており、これらを見た感想は「そんな記録に勝てるわけない」でした。しかし、勝てるかもと思った記録もあり、それは、キュウリを食べる最短時間です。

私は人生で早く食べるという行為をほぼしていないので、キュウリを早く食べるには効率よく食べる練習をするしかありません。陸上の短距離走選手が日々走り込むように、ひたすら特訓を重ねるしかないのです。そんなことに頭を使っている時、私は気づいてしまいました。食べる速さも重要だけでなく、食べやすいキュウリを用意するのも重要なのではないかと。さらに、私はこれからキュウリを栽培していくので、食べやすい理想のキュウリを自分自身で作れる可能性があるのではと。

ギネス世界記録ではキュウリ200gを28秒84で完食。とても早いけれど、私もキュウリを毎日食べているので、接戦になるはずと思いきや勝負を挑んでみましたが、その結果が1分7秒55。負けました。敗れました、惨敗でした。ギネス世界記録は早すぎる。しかし、負けても得られるものが何かあるは

この気づきは私がギネス世界記録を更新するための意欲を生み、いつの日か理想のキュウリを携えてギネス世界記録に再チャレンジしようという心に誓うことができました。